

# みんなのなつた

発行／成田市議会 編集／成田市議会広報広聴委員会



## 成田の夏の風物詩、4年ぶりに通常開催

7月7日(金)から9日(日)までの3日間、成田祇園祭が開催されました。初日は安全祈願と鏡開きが執り行われ、お囃子に合わせて、傘や扇子を手に総踊りが披露されました。その後、威勢の良い掛け声とともに、山車と屋台が表参道やその周辺へと繰り出していきました。

## スマホで動画！

表紙の取材で撮影した写真の動画をご覧ください。

※詳しくは裏表紙(16ページ)へ

令和5年  
5月臨時会・  
6月定例会

### 主な内容

5月臨時会ハイライト ……………	2	議案と審議結果一覧……………	6
6月定例会ハイライト ……………	3	一般質問……………	8
常任委員会審査レポート……………	4	政務活動費収支報告……………	14
特別委員会審査レポート……………	6	議会報告会を開催します……………	16







# 6月

# 定例会ハイライト

## 41議案を可決・同意

都市公園条例の一部改正、<sup>きょうりょう</sup>橋梁修繕工事請負契約の締結、令和5年度一般会計補正予算など

令和5年6月定例会は、6月9日に招集され、6月28日までの20日間の会期で開催しました。定例会の初日には35議案が上程され、発議案1件を原案どおり可決しました。6月13日には、空港対策特別委員会を新たに設置しました。

一般質問は、6月13日から4日間、18人の議員が登壇して行い、16日には2議案が追加上程され、人事案件23件を先議し、同意しました。19日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案14件および発議案3件を原案どおり可決し、また、請願3件のうち2件を採択、1件を不採択し、閉会しました。

### 【6月定例会の日程】

月日	内容
6月 9日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程、議案審議)
13日(火)	本会議(一般質問)
14日(水)	本会議(一般質問)
15日(木)	本会議(一般質問)
16日(金)	本会議(一般質問、議案審議、議案質疑、委員会付託)
19日(月)	建設水道常任委員会
20日(火)	空港対策特別委員会、教育民生常任委員会
21日(水)	経済環境常任委員会
22日(木)	総務常任委員会
28日(水)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

### 本市独自の支援を行うための 予算等を可決

小学1年生から中学3年生に加えて、本市独自の支援策として、未就学児や高校生相当年齢の方を対象に給付金を支給するための経費などを増額しました。(詳しくは、4ページへ)



### 部活動を段階的に地域へ移行

国において、休日の学校部活動は段階的に地域クラブへ移行する方針が示されたことから、令和5年度に1部活動をモデル事業として地域移行を開始し、課題を検証していくとのことでした。(詳しくは、4ページへ)



### 国に意見書を提出

委員会から提出された議案(発議案)を可決し、国に次の意見書を提出しました。

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- ・国における2024年度教育予算拡充に関する意見書

#### 意見書とは

地方公共団体の公益に関することについて、国政に反映させるため、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。

### 決議・条例案を可決

議員または委員会から提出された議案(発議案)を可決しました。

- ・星野慎太郎議員に対する議員辞職勧告決議
- ・議会の議員の議員報酬等の支給の一時差止め等に関する条例を制定するについて

#### 決議とは

議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的效果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。



意見書・決議  
QRコード



## 総務常任委員会

### 物価高騰の支援策に関する予算等を審査

議案5件をいずれも可決しました。所管事務について1件の報告を受けました。

#### ▼ 議案

#### 令和5年度一般会計補正予算

電力、ガス、食料品等の価格高騰により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯と家計急変世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するための経費として3億5,096万8,000円、小学1年生から中学3年生までの子どもを対象に1人当たり1万円を給付する千葉県の子どもの成長応援臨時給付金に加えて、本市独自の支援策として、未就学児や高校生相当年齢の方を対象に1人当たり1万円を給付するための経費として2億830万円、部活動の地域移行に伴う経費として84万1,000円の増額となるなど、補正後の総額は653億2,404万

(注2) ワークショップ…参加者の主体性を重視した体験型のグループ学習、講座、研究会等。

7,000円となります。

#### 主な質疑

**Q** 子どもの成長応援臨時給付金の給付スケジュールは。

**A** 申請が不要な方については、8月上旬に通知を送付し、8月中旬に児童手当または特例給付の登録口座に振り込みを行う。また、児童手当または特例給付を受けていないなど、申請が必要となる方については、8月中旬から申請の受け付けを開始し、審査後、速やかに振り込みを行っていきたいと考えている。

**Q** 部活動地域移行モデル事業について、今回のタイミングで補正予算を計上した理由は。

**A** 令和4年度から、外部団体を含めた協議会を設立し協議してきたところ、一定の方向性が得られたことから、このタイミングでの予算計上となった。

#### ▼ 所管事務

#### 総合計画「NARITAみらいプラン」第3期基本計画の策定

令和5年度に第2期基本計画の計画期間が満了することから、市民ニーズなどを的確に把握し、第3期基本計画に活用するための市民意識調査を実施したとのことでした。また、若い世代の目線・立場から、まちづくりに対する意見等を取り入れることを目的に、国際医療福祉大学や空港関連企業とのワークショップ<sup>(注2)</sup>を実施したとのことでした。



国際医療福祉大学とのワークショップ

## 教育民生常任委員会

### 本城小学校の校舎の増築等を実施

議案6件をいずれも可決し、請願2件を採択しました。所管事務について4件の報告を受けました。

#### ▼ 議案

#### 本城小学校(普通教室増築棟)4級併行防音工事(建築工事)請負契約の締結

本城小学校区内の児童数の増加に対応するため、校舎の増築および防音工事を行います。増築校舎は鉄骨造2階建てで、普通教室4教室、少人数教室2教室などを整備します。また、既存校舎にエレベーターの設置や昇降口等の段差解消などの改修工事を実施します。なお、工事完了は令和6年3月15日を予定しています。

#### 主な質疑

**Q** 工事期間中における児童への安全配慮についての考えは。

**A** 登下校時における児童の動線と工事車両の動線が交差しないよう配慮するとともに、仮囲い等の設置により工事エリアを区画するほか、工事車両の出入口付近には交通誘導員を配置する計画としている。

#### ▼ 所管事務

#### 部活動の地域移行

学校部活動においては、少子化が進行する中、中学校生徒数の減少に伴い、地域や種目によっては活動継続が困難となることが想定され、また、教師の負担も課題となっています。このことから、国は令和5年度からの3年間を改革推進期間とし、休日の学校部活動は段階的に地域クラブへ移行することを示しました。本市においても、令和5年9月より西中学校を拠点とする、柔道を地域クラブでモデル事業として実施し、課題を検証しながら、段階的

に地域移行を行っていくとのことでした。運営方法については、平日はこれまでと同様に部活動顧問が指導し、休日は地域クラブの指導者を地域から募集し、指導時間に依りて謝金を支払うとのことでした。また、休日の地域クラブ活動は、趣旨に賛同する生徒や保護者の意思で任意に参加できることから、西中学校柔道部員のほか、平日の部活動に参加していない生徒や他校の生徒も、地域クラブに参加できるようになるとのことでした。



西中学校柔道部



## 経済環境常任委員会

### 下総運動公園に指定管理者制度<sup>(注3)</sup>を導入

議案2件をいずれも可決し、請願1件を不採択としました。所管事務について7件の報告を受けました。

#### ▼ 議案

#### 都市公園条例の一部改正

民間のノウハウを活用した質の高いサービスを提供することや施設管理の質の向上を図ることなどを目的に、下総公民館と下総歴史民俗資料館を除いた下総運動公園のスポーツ施設や遊具、緑地等の管理について、令和6年4月1日から指定管理者制度を導入するため、条例の一部を改正します。



下総運動公園(野球場)

(注3)指定管理者制度…地方自治体が設置する公の施設の管理について、民間事業者等を含めた幅広い団体に委ねることを可能とする制度。  
(注4)インバウンド需要…訪日外国人による消費。

#### 主な質疑

**Q** 市直営の管理から指定管理者制度に変更する理由は。

**A** コロナ禍以降、スポーツ施設の利用者が回復傾向にあり、市民の利便性や管理水準の質の向上を図るため、制度を導入するものである。

#### ▼ 所管事務

#### 新清掃工場関連付帯施設整備事業

すでに取得している事業用地内で新清掃工場関連付帯施設を整備する方針としたことに伴い、令和4年度に基本設計を行ったとのことでした。プールやトレーニングジム、温泉を主体とした温浴施設の整備により、スポーツと温浴を通じてリフレッシュすることができ、市民の健康増進を促す施設となることを目指すほか、地域活性化の拠点となる施設、地球環境に配慮し地域の自然と共生する施設などを施設整備のコンセプトに掲げているとのことでした。なお、令和6年度以降、アクセス道路の整備や用地造成工事を実施し、



新清掃工場関連付帯施設の完成イメージ図  
令和11年度中の供用開始に向けて取り組んでいくとのことでした。

#### 卸売市場の集客施設棟整備及び運営事業

インバウンド需要<sup>(注4)</sup>の獲得と消費の拡大に結びつく日本の食文化を含めたさまざまな情報を発信する拠点であるとともに、新たな観光拠点としての役割も担う集客施設棟を整備・運営する事業者を公募するとのことでした。7月下旬から参加申込書、10月上旬に事業提案書の受け付けを行い、11月上旬に優先交渉権者を決定し、12月以降に基本協定の締結を予定しているとのことでした。

## 建設水道常任委員会

### 郷部大橋の長寿命化のための修繕を実施

議案1件を可決しました。所管事務について1件の報告を受けました。

#### ▼ 議案

#### 橋梁修繕工事(郷部大橋)(第1径間他)請負契約の締結

郷部大橋について、橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検結果により、鉄製の橋桁に腐食が見られることから、防



郷部大橋

さび処理や塗装の塗り替えを行うとともに、コンクリート製の橋脚に見られるひび割れ等の補修を行います。なお、工事完了は令和6年3月29日を予定しています。

#### 主な質疑

**Q** 工事による、橋の利用者への影響は。

**A** 郷部大橋本線の通行規制は行わないため、利用者への影響はないが、橋台を補修する際、美郷台方面から橋脚の間を通る市道郷部2号線は道路幅が狭いことから、2週間程度の通行止めの規制を予定している。

#### ▼ 所管事務

#### 並木町配水場改修事業の進捗状況

平成29年度から8年の事業期間で改修工事を実施している並木町配水場に



改修中の並木町配水場

については、令和4年7月に1号配水池の耐震補強と2号配水池の新設、令和5年3月に地下1階、地上2階建ての管理棟建築工事が完了しており、令和5年夏ごろに予定している暫定供用に向け、各機器の試運転調整などを行っているとのことでした。今後、消毒設備工事などを令和5年第3四半期に予定しており、令和6年度中の完成を目指して工事を進めていくとのことでした。



空港対策特別委員会

地域と空港の一体的かつ持続的な発展に向けて

▼報告

『新しい成田空港』構想検討会 中間とりまとめの概要

『新しい成田空港』構想については、2022年10月より学識経験者、国、県、地元3市町を委員とする検討会を設置し意見交換を行っており、令和5年3月の第5回検討会において、今後の取り組みの方向性について見解の一致が見られたことから、中間取りまとめとして整理したとのことでした。目指すべ



成田空港

(注5)ハブ空港…各地からの航空路線が集中し、乗客や貨物を目的地となる他の空港に中継する機能を備えた、地域の拠点となる空港。

き国際拠点空港としてのあるべき姿として、世界とつながる多様なネットワークをもつ国際ハブ空港(注5)、地域と空港が相互に連携し、一体的かつ持続的に発展していくための積極的な取り組みと雇用の確保などを掲げており、その実現に向けた取り組みとして、年間発着容量50万回に向けた更なる機能強化の推進のほか、旅客ターミナルを再構築し、集約型のワンターミナルとすることなど、5つの取り組みを検討することとのことでした。『新しい成田空港』構想の進め方については、機能強化の完成から大きく遅れることなく実現を目指していくとのことでした。

騒音地域における環境整備調査委託

成田空港の更なる機能強化が推進されている中、地域と空港の共生の実現に向けて、成田空港のプラスの効果が騒音地域にも及ぶよう、地域の特性を生かした振興策を検討するため、環境

整備調査を行うとのことでした。騒音地域における地域振興のニーズ把握や地域資源などの分析を行い、地域振興メニューを策定するものであり、調査の実施に当たっては、民間事業者の専門知識やノウハウを活用するとのことでした。

主な質疑

Q 市全域住民の地域振興に係るニーズを把握するための手法は。

A 現時点ではアンケート調査を想定しているが、委託業者からの提案次第では、その他の方法によることも考えられる。また、アンケート調査を実施する場合の対象地区は、騒音法第一種区域とその他の市内全域を想定しているが、アンケートの対象者数や実施の詳細については、委託業者の専門性を生かせる部分であると考えられることから、委託業務開始後に検討していく。

一覧

議案と審議結果

※○=賛成、×=反対、欠=欠席 ※議長(神崎 勝)は採決に加わりません。 ※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑、無=【無所属】。

Table with columns for proposal name, decision result, and various political groups (政友クラブ, 豪政会, 公明党, etc.) and their voting status (賛成, 反対, 欠席).





うざわ りゆうじ 議員



## 道路や公園の除草で高齢者のくらし応援を

**問** 日本共産党成田市議団が行った市民アンケートでは、「道路沿いの草木が生い茂り、樹木がせり出していて、車や自転車、車椅子などの通行に支障が出ている箇所がある」「道路や公園などの除草を適宜行ってほしい」といった声が多く寄せられている。多くの地域で自治会等のボランティアが除草作業に取り組んでいただいているが、少子

高齢化、コロナ禍による担い手不足、燃料代の高騰など、ボランティアの努力にも限界がある。行政が地元住民の訴えに耳を傾けて、道路や公園などの除草、危険な樹木の伐採を積極的に行うことを求めるが、見解は。

**答** 市道については、主にバス路線、通学路、幹線道路において、路肩草刈り作業委託により年2回から3回、定期的に実施しており、街路樹については、業務委託により年間を通じて管理を行っている。国道および県道については、各管理者において定期的な管

理や要望対応などを実施している。また、公園などの除草については、作業委託により年2回から5回程度、雑草が繁茂する時期に合わせて行うとともに、樹木の伐採や剪定も状況に応じて適宜行っており、利用者からの情報提供なども踏まえ、柔軟に対応している。今後も道路や公園などの草木の適正な管理を継続し、高齢者をはじめ施設を利用する方々の安全確保に努めていく。

**その他の質問** ▶成田空港の軍事利用を認めないで ▶A滑走路の運用時間は元の23時に戻して

## より住民に届く情報発信の実現のために

**問** 情報発信の本質は、情報を伝えることによって行動変容を起こすことにある。住民行動に影響を与えるために、情報発信の質を高めることや浸透させていくことが重要であるが、情報発信の効果を高めるための取り組みは。また、今後は情報発信においても、インターネットによる双方向コミュニケーションの活用が効果的と考える。市のホームページの総合窓口となるようなチャット機能の整備が情報発信の一助になると考えるが、見解は。

**答** 情報発信の効果を高めるため

の取り組みとしては、広報媒体の特性や利用状況、発信する情報の内容などに応じて、広報なりた、市のホームページ、市の公式SNSなど、複数の広報媒体を組み合わせるなどして、効率的で効果的な情報発信に取り組んでいる。また、市のホームページにおいて、通常の検索機能に加え、新型コロナウイルス感染症についての市民からの問い合わせに活用していた、日本語、英語、中国語など6言語で24時間自動回答するAIチャットボットを市政全般にわたる内容に範囲を広げた上で導入すること

くさうたかひろ 議員



を検討し、市民が知りたい情報に素早くアクセスすることができる環境を提供していく。

**その他の質問** ▶公共施設の点検状況と包括管理委託<sup>(注6)</sup>への見解は ▶公共施設の統廃合に向けた施設の在り方の検討状況 ▶公共施設マネジメントに対する職員の意識向上と住民等との情報共有の体制は

(注6) 包括管理委託…施設の点検や維持管理に関する業務を一括して民間事業者に発注するもの。発注手続きの効率化や施設管理業務の品質の均一化などが期待される。

## パートナーシップ型行政の今後のあるべき姿は



とりうみなおき 議員



**問** 昨今の経済状況などの要因により、市民の協働への意識が低下していると感じる。今後はパートナーシップを行う団体を所管する担当部署同士で課題を把握し、解決策を考え、連携することが必要であり、新たなパートナーシップ型行政を構築することが重要と考えるが、今後のあるべき姿は。

**答** 本市と協働する市民活動団体

などは、地域住民の連携強化から発展していく住民自治の確立を実現するために重要な役割を担っていただいていると認識している。その一方で、区・自治会等においては加入率の低下、地区社会福祉協議会においては主な構成



員の高齢化などによる担い手不足、成田市PTA連絡協議会や青少年相談員連絡協議会においては仕事をしながら活動しているため、参加すること自体が難しいなどの課題があると伺っている。このような課題について、市民活動団体を所管する部署が把握し、情報を共有することは新たな視点からの気付きにつながることから、庁内で情報共有する仕組みを検討していく。

**その他の質問** ▶公民館におけるコピー機等の使用に係る運用の見直しについて



## 市民活動応援補助制度の創設を



あいづもとこ 議員



**問** 行政として、市民活動に対する支出を引き締めるのではなく、市民活動を応援するために支出を増やすべきだと考える。市民団体が公益的な活動を活発に行い、行政との協働が進むことにより、団体は社会的課題に効果的、効率的に取り組むことができる。そして、市民はきめ細やかで柔軟な公共的サービスを受けることができ、行

(注7) オンデマンド交通…利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の公共交通サービス。

政はスムーズな行政運営、効果的な財政改革を進めることができる。地域社会の中で好循環をつくり出す市民活動を応援する補助制度の創設を求め、見解を伺う。

**答** 市民活動に対する補助制度を実施している多くの自治体では、市民活動団体等から事業の提案を受け、その内容を審査した上で事業を選定しており、補助金額や交付期間などはさまざまである。現時点で制度の創設については考えていないが、今後も他市の制度について調査研究していく。

**その他の質問** ▶子ども基本法に基づく子どもの意見表明について ▶改修または建て替えを待つ間に、既存の図書館で利便性を向上させる取り組みを ▶オンデマンド交通<sup>(注7)</sup>の実証実験継続の必要性は



## 小中義務教育学校における民間試験の実施状況は

**問** 現在、教員の長時間労働が問題視されているが、英語検定試験などの民間試験を学校で受験できるメリットは大きく、子どもたちがチャレンジできる体制づくりに今後も取り組んでいく必要がある。小中義務教育学校に



における英語検定試験、漢字検定試験の実施状況は。また、中学3年生における英語検定3級以上の取得割合は、平成24年度が23.6%、令和4年度が31.6%であったが、もう少し増加していると感じる。平成24年度から令和4年度までの取得割合の推移は。

**答** 小学校および義務教育学校前期課程では、英語検定試験を2校、漢字検定試験を6校で実施しており、中学校および義務教育学校後期課程では、英語検定試験を5校、漢字検定試験を6校で実施している。また、平成

なかしまたつや 議員



24年度以降、英語検定3級以上を取得している中学3年生の割合は徐々に増加し、平成30年度に40.4%となり、それ以降は30%台を推移している。

**その他の質問** ▶中学生の9教科5段階の成績評価について ▶不登校生徒やクラス授業に参加できなかった生徒等の成績評価について ▶まなび&ボランティアサイトの活用状況は

## 事務事業評価のより詳細な情報公開を



こいずみでいき 議員



**問** 行政評価の中で、市民から事務事業評価のより詳細な情報公開を求める声をいただいている。本市のホームページで公表している情報では、「維持継続」「拡大」「廃止」といった情報にとどまっている。茨城県那珂市では、事務事業評価シートとして、各事業の概要や成果、事業費の内訳等に加え、市民からの意見を含めて公表されてお

り、詳細な情報が掲載されている。本市でも、事務事業評価のより詳細な情報公開を求めるが、見解は。

**答** 本市の情報公開の方法については、行政評価の最終評価が確定した後、政策評価、施策評価と併せて事務事業評価の評価結果を市のホームページで公開している。事務事業評価については、評価結果について施策体系別に整理した事業一覧を公開するとともに、特に評価結果が「拡大」「改善・見直し」「廃止」など、「維持継続」以外の事業については、判断理由を付して公

開している。本市においては、500以上の事業を評価の対象に実施していることから、市のホームページでは、見やすさなどの観点から、評価内容を整理した上で公開しており、全ての対象事業における詳細な評価項目の公開は行っていないが、より詳細な評価内容を知りたいという要望がある場合には、対応していく。

**その他の質問** ▶成田伝統芸能まつりのこれまでの取り組みと、これからの展望は ▶イベント等を行うに当たり、関係諸団体との連携は

## 区・自治会・町内会の役員の負担軽減や加入促進を



鬼澤雅弘 議員



**問** 令和4年度の区・自治会の加入率は、市全体で47.5%、遠山地区は27.5%であり、加入率を上げる取り組みが必要と考える。東京都立川市では、災害に強い地域づくりのために自治会会員世帯に「絆カード」を配布している。区・自治会への加入は、いざというときに共助のきっかけとなり得ることから、一歩踏み込んだ取り組みを求める

(注8)遊休農地…1年以上耕作されておらず、かつ、今後も耕作される見込みがない農地。または、周辺地域の農地と比較して、利用の程度が著しく劣っている農地。

が、役員の負担軽減策と加入促進への考えは。

**答** 役員の負担軽減策については、区・自治会長からの相談を受け、行政回覧で依頼する文書の見直しや、発送回数を月2回から月1回へ変更することに加え、週末に行政回覧の仕分け作業ができるよう発送日の変更を行っている。また、各種申請書類の作成をサポートし、負担軽減に努めている。今後も、区・自治会から意見を伺うなど、役員の負担軽減に努めていく。区・自治会への加入促進としては、広

報なりたや市のホームページで、子どもや高齢者への見守り活動や災害時における区・自治会の共助の大切さなどの啓発を行っている。また、具体的な活動事例を盛り込んだ加入促進マニュアルを作成し、区・自治会に活用してもらうことで加入促進を図っている。今後も引き続き、区・自治会の共助の大切さについて啓発していく。

**その他の質問** ▶成田空港の更なる機能強化と騒音地域の振興策について ▶遊休農地<sup>(注8)</sup>の解消に向けた取り組みと小規模農家への支援について

## 小泉市長の選挙公約である道の駅の設置は

**問** 道の駅は日本各地において立地環境の良い場所に設置されており、群馬県川場村<sup>かわば</sup>の道の駅「川場田園プラザ」は、年間250万人が訪れ、豪政会でも視察を行ったところである。市民



道の駅「川場田園プラザ」

や団体から要望も届けられている中、空港会社やJA成田市とも連携を図りながら、道の駅の設置を検討する必要があると考えるが、小泉市長の選挙公約である道の駅設置の考えは。

**答** 道の駅は、新たなにぎわいの創出と地域経済の活性化につながることから、本市においても地域の方々や関係団体等から道の駅設置に関する要望や提案をいただいているところである。このような中、新生成田市場においては、インバウンド需要の獲得と消費の拡大に結び付く新たな観光拠点とし

神崎利一 議員



での役割を担う集客施設棟を整備・運営する事業者の公募を6月23日から開始することとし、今後はその状況なども踏まえながら、道の駅などのにぎわい創出拠点の設置を検討していく。

**その他の質問** ▶遠山小学校の現状と今後および学区の在り方について ▶少子化対策と高齢者施策について ▶物価高騰について

## 飯仲地先の卸売市場跡地のまちづくり構想は



伊藤竹夫 議員



**問** 公設地方卸売市場の移転再整備に伴い、新生成田市場へ移転した事業者もいれば、移転せずに卸売市場跡地で継続して営業する事業者もいる。7.2ヘクタールの広さがある卸売市場跡地においては、市、民間の開発者、個人の3者が一緒になって考え、既存の事業者の意見も取り入れながら、成田を象徴するようなまちづくりを行っ

てほしいと願っている。高速道路や国道が近接し、商業地区としても成り立ってきた卸売市場跡地をどのように整備していくのか、現時点での基本的な考え方を伺う。



飯仲地先の卸売市場跡地

**答** 卸売市場跡地は公津の杜駅から近く、国道51号にも面しているなど、周辺に良好な都市基盤が整備されたポテンシャルの高い土地であることから、住宅需要や商業エリアとしての発展可能性なども見据えながら、民間活用を基本として跡地利活用の検討を進めていきたいと考えている。

**その他の質問** ▶新清掃工場関連付帯施設の早期完成を ▶下がり続ける投票率への方策は ▶多様化した高齢者の健康増進の対応として、マッサージ券以外の支援の考えは

## 熱中症から市民の生命を守るための取り組みは



いちやまたかし 議員



**問** 政府は、熱中症による死者の数を2030年までに半減させることを目標に定めた対策計画を閣議決定した。熱中症対策の実行計画では、熱中症による死者の多くを占める高齢者などに、リーフレットなどを通じて適切なエアコンの利用を呼びかけるほか、地域のNPO法人などに高齢者の見守りの協力を求めるとしている。熱中症

から市民の生命を守るための取り組みを推進するに当たり、情報発信や周知啓発など、どのような取り組みを行っていくのか。

**答** 適切な熱中症予防行動をとるためには、熱中症警戒アラートや暑さ指数などの認知度を高め、活用してもらうことが重要と考えている。このことから、熱中症リスクが極めて高い気象条件が予測され、熱中症警戒アラートが発表された場合には、庁内関係部署に情報伝達を行うとともに、市民が熱中症の予防行動に取り組めるよう、

防災行政無線やなりたメール配信サービスなどを活用し、引き続き情報発信に努めていく。

**その他の質問** ▶安心・安全な子育て環境の整備について ▶不登校支援の推進について



## 巨大地震に対する市民の防災意識の向上を

**問** 現在、巨大地震の発生の切迫性が高まっている。令和5年は関東大震災から100年の節目に当たる年であり、防災対策や減災などについて、真剣に考えるべきである。巨大地震に対する市の見解と市民の防災意識の向上について伺う。また、自助・共助の重要性について、今こそ強く訴え、市民に認識してもらおうべきと考えるが、その取り組みを伺う。

**答** 本市では、市内全域に大きな被害を及ぼす成田空港直下地震を想定し、地域防災計画や国土強靱化地域計

画に基づき、大規模自然災害等に備え、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策をまちづくり政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、ハード・ソフトの両面から、強靱な地域づくりの推進に取り組むとともに、区・自治会を通じた防災講話の実施など、さまざまな方法により市民の防災意識の向上に取り組んでいる。災害時においては、公助の取り組みを推進しているが、公的機関の活動には限界があり、自助・共助による取り組みが重要であることから、防災講話を通

いしわたかしはる 議員



じて、自分の命は自分で守るという自助や、自分たちの地域は地域のみなどで守るという共助の重要性を伝え、市民の防災意識の高揚を図っている。

**その他の質問** ▶耐震に優れている水道管への布設替えの状況について ▶給水車の配備と水・食料などの備蓄について ▶鉄道駅のホームドアの設置状況と今後の見通しについて

## 新型コロナウイルス感染症対応と経済対策は



みずかみまさひこ 議員



**問** 公明党として、物価高対策の追加策の提言を政府に申し入れ、政府は臨時交付金を1兆2,000億円積み増すことを決定した。新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う感染防止対策と今後の予防対応の考えは。また、地方創生臨時交付金物価高騰経済対策と生活困窮者対応の考えは。

**答** 国では、感染状況の変化や新

たな変異株の発生等に迅速かつ的確に対応するため、必要に応じて新型インフルエンザ等対策閣僚会議を開催するとされ、本市においても、国・県の動向なども踏まえ、新たな対応が必要となる場合には、庁内関係部署が一体となり、従前の感染症対策本部と同様の体制により対応していく。また、本市では、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しつつ、その時々々の状況を踏まえて積極的に財政措置を講じ、多岐にわたる独自の支援事業を実施してきた。さらに、

物価高騰の影響を大きく受ける生活困窮世帯や子育て世帯にきめ細かい支援を行うとともに、農業者、福祉・保育施設等に対する支援を行うなど、幅広い支援策を盛り込んだ補正予算を編成したところであり、市内の経済や物価の動向を注視しつつ、市民の暮らしや事業を守るため、迅速かつ適切に施策を展開していく。

**その他の質問** ▶市制施行70周年記念事業と新たなまちづくりについて ▶共生社会実現のための取り組みについて ▶防犯まちづくりについて

## 土地改良区の健全な運営のために賦課金<sup>(注9)</sup>の軽減を



ふじさきゅういち 議員  
藤崎 勇一



**問** 稲作農家では、農地についても耕地の維持が難しく、土地改良区における賦課金の支払いが負担になりつつある。土地改良区の組合資格者が負担する賦課金の軽減について伺う。

**答** 賦課金は、土地改良法に基づき、土地改良区で定めた定款により賦課徴収をすることができるものとなっている。このようなことから、本市で

賦課金への助成を行うことについては、適切に賦課金を納めている組合員資格者に対して公平性が失われるほか、賦課金の滞納を助長してしまう側面もあるため、難しいものと考えている。一方で、各土地改良区においては、適正な賦課金額を維持できるようさまざまな対応を行っているものの、施設の老朽化による更新事業、電気料金の高騰などにより、厳しい状況に置かれていると認識している。このようなことから、支援策の一つとして、各土地改良区からの要望が多かった農業水利

施設における電気料金に対する助成を行うため、補正予算を提案した。引き続き、各土地改良区における賦課金額が適正に維持できることを目的として、土地改良事業および用排水施設の維持管理に係る経費に対する助成などの支援を行うことで、土地改良区の健全な運営と事業の推進を図っていく。

**その他の質問** ▶豊住地区における地域振興策について ▶農道整備と排水路整備の現状と今後の進め方について ▶給食食材の調達方法と成田市場の活用状況について

## 親子方式<sup>(注10)</sup>での給食提供と給食センターにエアコンを

**問** ニュータウン地区の親子方式の共同調理場は、以前の予定では整備を終えているはずであったが、向台小学校と神宮寺小学校の共同調理場の整備は手付かずのままである。向台小学校の場合、校舎の建て替えと一緒に整備すると10年以上かかる。先延ばしせずにスケジュールを示して、親子方式の給食を全ての子どもたちへ早期に提供できるよう整備を進めるべきではないのか。また、本市の学校給食センターの調理場にはエアコンが設置されていない。その場しのぎではなく、しっ

かりと対策をとるべきと考えるが、夏場の暑い日における調理場内の室温等と今後の対策は。

**答** 向台小学校、神宮寺小学校等の共同調理場の整備スケジュールについては、さまざまな状況を踏まえ総合的に検討し、早期の施設完成に向けて整備を進めていきたい。また、令和4年度において調理場内の最も暑かった温度は38度、湿度は89%であった。調理員の労働環境の改善を図ることは大変重要であり、令和5年度はファン付き空調服の導入を進めている。今後

あらいさくら 議員  
荒川 さくら



はスポットクーラーの追加導入等についても検討を行い、現場の意見を聞きながら必要な対策を講じていきたい。

**その他の質問** ▶ふれあいるーむ21の増設・拡張、校内教育支援教室の設置について ▶フリースクール<sup>(注11)</sup>設立・運営、通学への支援制度の創設を ▶ジェンダー平等実現に向けた包括的性教育の実施について

(注10)親子方式…拠点となる学校(親)で調理した給食を近隣の学校(子)に配送する方式。

(注11)フリースクール…不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などを行っている民間の施設。

## 公共交通が利用しにくい地域における取り組みは



いじまてるあき 議員  
飯島 照明



**問** コミュニティバスは、鉄道や路線バスを補完するように市域全体に配置され、オンデマンド交通は、70歳以上の方々の外出支援策として運行している。民間の公共交通が行き届かない地域を中心にコミュニティバスを運行し、高齢者のためにオンデマンド交通を運行することで、交通不便地域をカバーしているのが現状であるが、公

共交通が利用しにくい交通空白地域<sup>(注12)</sup>における今後の取り組みは。

**答** 交通空白地域は、小規模ながら市内各地に見られることや利用者が少ない区間があるため、主要な道路を中心に展開する民間路線バスやコミュニティバスによる交通事業が成立しにくいなどの課題がある。このようなことから、持続可能な公共交通の構築に加え、地域の望ましい公共交通の在り方や方向性を示すものとして策定した地域公共交通計画に掲げる目標達成に向けた施策により、交通空白地域の解

消を図るため、交通事業者をはじめ、関係機関との協議を進めていく。

**その他の質問** ▶上下水道の未普及地区への整備促進を ▶部活動の地域移行における現在の進捗状況は



本市のオンデマンド交通

(注12)交通空白地域…近隣に鉄道駅やバス停が設置されておらず、公共交通を利用しづらい地域。鉄道駅から800メートル以上、またはバス停から300メートル以上離れた地域が対象とされている。

## 国際都市成田の外国人住民の受け入れ体制は



まの よしゆき 議員



**問** 難民・避難民の受け入れについては、入管難民法<sup>(注13)</sup>が改正され、国の動向を注視する必要があるが、国・県からの要請後の個別対応で動くのではなく、しっかりと対応できるような部署が必要である。また、外国人総合相談窓口は、相談者が抱える問題を迅速に解決できるワンストップ窓口であるべきである。日本の表玄関とし

(注13)入管難民法…出入国管理及び難民認定法。本邦に入国し、または本邦から出国する全ての人の出入国の公正な管理を図るとともに、難民の認定手続きを整備することを目的とした法律。

て存在する国際都市成田は、多文化共生課のような部署を新設し、外国人対応を一本化できるような都市であるべきと考えるが、市の見解は。

**答** 避難民の受け入れについては、必要となる支援の関係部署が多岐にわたるほか、言葉や生活習慣の違いなどの課題もあることから、相談窓口が中心となって関係各課と連携するとともに、関係団体の協力をいただきながら、避難された方々にとって必要な支援を迅速に提供できるようにしていく。また、本市の外国人総合相談窓口

はワンストップ窓口ではないが、窓口で伺う相談は多岐にわたっており、会計年度任用職員が相談者に同行することで、言葉が分からないという不安を取り除き、関係部署の職員と一緒に対応することで、必要な情報については共有し、解決できるよう努めている。このことから、部署の新設については、現状として考えていない。

**その他の質問** ▶ウクライナ避難民の支援内容と今後の支援計画は ▶国際交流協会の自主運営に向けて、市としてどのように支援していくのか

## 帯状疱疹<sup>(注14)</sup> ワクチンの啓発と接種費用助成の考えは

**問** ある一定年齢を過ぎた50歳の時点から、飛躍的に発症率が上がる病気の一つに帯状疱疹がある。帯状疱疹ワクチンはどのような種類があり、どの程度市民へ啓発しているのか。また、帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成についての考えは。

**答** 予防接種には、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類が使用されている。2つのワクチンの特徴としては、生ワクチンは接種回数が1回で接種費用が安価となっている一方、不活化ワクチンは接種回数が2回必要で、接種

(注14)帯状疱疹…子どもの頃にかかった水痘が治癒した後もウイルスが体内に潜伏し、加齢やストレスなどの免疫力の低下により、神経に沿って水痘が現れ、痛みを伴う疾患。

費用も高額となるが、副反応が強く出る可能性があるものの予防効果は高く、持続効果も長いとされている。現在、帯状疱疹ワクチンについては、予防接種法に基づく定期予防接種とは異なる任意接種であることから、市ではワクチンに関する情報提供、啓発は行っていないが、今後、国が定期接種に向けて審議しているワクチンについて、帯状疱疹ワクチンも含め、市のホームページにおいて情報提供を行うとともに、引き続き国の動向を注視していく。また、帯状疱疹ワクチンの接種費用の助

ほそが いまさむら 議員



成については、国が定期予防接種として承認したワクチンについて、市では公費負担による接種を勧奨していることから、現時点では任意接種に対する助成制度を導入する予定はない。

**その他の質問** ▶本市の自転車の安全対策、自転車用ヘルメット着用の努力義務化に対する取り組みは ▶自転車用ヘルメット購入費用の助成を

## 若者の力、意見を取り入れる「若者議会」の検討を



あぶら けいし 議員



**問** 山形県遊佐町は、若者の代表として活動してもらい取り組みとして、子ども町長と子ども議員が中学生・高校生による選挙で選ばれ、45万円の予算を組んで政策を立案し、実現させる事業を行っている。また、愛知県新城市は、若者議会として、1,000万円までの予算を提案する権利が与えられている。子どもたちが成田市のことをよ

(注15)カラーユニバーサルデザイン…多様な色覚に配慮して、情報がなるべく全ての人に正確に伝わるように、利用者の視点に立ってデザインすること。

り深く考え、愛着を持ち、主体的に関わりが持てるように、一定の予算を組んで具体的な政策提案ができる「若者議会」を検討する考えは。

**答** これからのまちづくりを進めていく上では、中学生や高校生などを含めた将来のまちづくりの担い手である若者が、市政に興味を持ち、積極的に参画することが重要と考えている。今後も引き続き、若い世代を対象としたワークショップや中学生議会などの開催により、若者の声を市政に反映していくとともに、「若者議会」について

も、先進自治体の事例などを参考にしながら、調査研究していく。

**その他の質問** ▶カラーユニバーサルデザイン<sup>(注15)</sup>の普及を ▶多子世帯への税負担が増す国保の均等割減額を



愛知県新城市の若者議会

令和  
4年度

# 政務活動費の 各会派別収支報告

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、地方自治法に基づいて条例に定めるところにより会派(所属議員が1人の場合でも会派とみなします。)に対して交付されるものです。

成田市では、政務活動費の年額について、議会における会派の所属議員数に72万円を乗じた額を交付しています。

各会派は、毎年度末に領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残額がある場合は、市に返還しています。また、各会派の収支報告一覧は、市議会ホームページで公表しています。なお、領収証等の関係書類は、8月中の公表を予定しています。



政務活動費  
QRコード

## 交付額一覧

会派名	人数 (人)	交付額 (円)	支出額合計 (円)	残額 (円)
政友クラブ	14	9,840,000	11,540,331	0
豪政会	5	3,600,000	3,856,574	0
リベラル成田	4	2,880,000	3,240,462	0
公明党	3	2,160,000	1,434,485	725,515
日本共産党	2	1,440,000	1,398,214	41,786
虹と緑	1	720,000	1,394,502	0



## 支出内訳

会派名	支出額 (円)	支出内訳(円)						
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費
政友クラブ	11,540,331	881,953	0	9,280,100	0	56,928	1,081,350	240,000
豪政会	3,856,574	711,646	0	2,573,831	0	240,625	330,472	0
リベラル成田	3,240,462	280,966	0	2,555,390	0	93,998	93,988	216,120
公明党	1,434,485	222,532	66,320	899,670	5,310	43,572	197,081	0
日本共産党	1,398,214	80,772	27,000	796,059	82,821	9,283	64,732	337,547
虹と緑	1,394,502	0	0	1,394,502	0	0	0	0

※項目のうち「要請及び陳情活動費」「会議費」「人件費」は、全会派で支出がなかったため表に含めていません。

※交付額と支出額について、支出超過分は会派が負担しています。

## その1 議会DX<sup>(注16)</sup>推進検討会を設置しました

国による自治体DX推進計画などにより、地方自治体におけるデジタル社会の実現に向けた方針が示されており、本市議会においても、情報と業務プロセスをデジタル化し、議会運営や議会活動に浸透することで、新たな価値や利便性が創出されるよう、DXの推進に取り組む必要があることから、議会DX推進検討会を設置しました。

DXによって、本市議会の議会運営が良い方向に進むよう、活発な議論を重ねていきます。



(注16)DX…デジタルトランスフォーメーション。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。

## その2 議会だよりをリニューアル！

議会だより101号(令和2年8月1日号)以来、3年ぶりにリニューアルしました。

これからも“市民の皆さんと議会を結ぶ分かりやすい広報紙”をコンセプトに、読者にとって読みやすく、議会に親しみを持ってもらえるような議会だよりを目指し、積極的に議論してまいります！

### 〈リニューアルの主な内容〉

- タイトル「みんな」を6色で装飾し、多様性を表現
- 各コーナーにテーマカラーを導入し、分かりやすさをアップ

- 基本書体の変更やレイアウトの再構築により、より見やすい紙面を追求 など

みんなのなりた

新タイトルロゴ

成田市議会だより → 成田市議会だより  
旧書体 新書体

## 全国市議会議長会より表彰状

永年にわたり、市政の発展に尽力された功績により、次の5氏が全国市議会議長会から表彰されました。



宇都宮 高明 議員  
【議員在職36年】



神崎 利一 議員  
【議員在職20年】



伊藤 竹夫 議員  
【議員在職20年】



海保 茂喜 議員  
【議員在職20年】



荒木 博 議員  
【議員在職20年】

対面方式とオンライン方式で

# 議会報告会を開催します

開催日 令和5年11月7日(火)

	時間	定員	開催形式・会場	意見交換のテーマ
第1部	午前10時～	30名	対面方式 成田市役所 議会棟3階	「災害から地域を守る」
第2部	午後6時～	30名	オンライン方式 Web会議システムのZoomを使用します	「子どもを地域で育てる」

## 申込方法(事前申込制)

申込期間 8月1日(火)～11月6日(月)(土日祝を除く)

次のいずれかでお申し込みください。なお、当日参加も可能ですが、事前申し込みへのご協力をお願いします。

- TEL 0476-20-1570(午前8時30分～午後5時)
- FAX 0476-24-0336(記載事項：氏名(フリガナ)、電話番号、参加を希望する部)
- 申込フォーム



議会報告会  
申込フォーム  
QRコード

※成田市内に在住・在勤・在学している方が参加対象です。

※託児(対面方式)・手話通訳を希望される方は、10月30日(月)までにご連絡ください。



9月  
定例会

9月1日(金) 開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1 開会	2
3	4	5 一般 質問	6 一般 質問	7 一般 質問	8 一般 質問	9
10	11 委員会	12 委員会	13 委員会	14 委員会	15	16
17	18	19 決算 委員会	20 決算 委員会	21 決算 委員会	22	23
24	25	26	27 閉会	28	29	30

※日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

## コーヒータイム

こんにちは。広報広聴委員会です。  
4月に選挙が実施され、新たな成田市議会が始動しました。  
広報広聴委員会では、広報活動として、議会だよりや議会ホームページを通して、市民の皆さんに議会のことを広く分かりやすく伝えられるよう編集に取り組んでいます。

また、広聴活動として、これまで行ってきた議会報告会や高校生との意見交換会などを通して、若い世代を含めたより多くの皆さんの声を聴き、市民の皆さんにとって身近な議会となるよう活発な議論を重ねています。  
これからも皆さんからのご意見、ご要望に寄り添い、市民に開かれた議会になるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。

広報広聴委員会

## 議会中継

パソコン・スマートフォン・タブレットで  
本会議・委員会を視聴！  
インターネットで  
生中継・録画中継(本会議のみ)



成田市議会

検索

## 表紙の取材で撮影した写真の動画が見られます

スマホアプリ「COCOAR」をインストールして、本紙の表紙にかざすと、成田祇園祭の写真の動画をご覧いただけます。成田市議会ホームページに掲載された議会だよりの電子ブック版および成田市公式YouTubeチャンネルからもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



アプリアイコン



iOS・Android対応

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760 TEL 0476-20-1570 FAX 0476-24-0336

成田市議会

検索



議会HP  
QRコード

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。



\*QRコードは饅頭デンソーウェブの登録商標です